

— 2022年新年を迎え —

一般財団法人町田市文化・国際交流財団 町田国際交流センター
センター長 富田 莉莉



謹んで新年をお祝い申し上げます。
旧年中は、町田国際交流センターをご支援いただき感謝しております。
当センターのボランティア会員及び当センターの活動を支援していただいている皆様も希望に満ちた新春を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

2020年1月上旬に新型コロナウイルス感染症が、初めて国内で確認され2年が経過いたしました。

日本では現在、感染状況は落ち着いていますが、世界では感染拡大している国が多く見受けられます。

当センターでは、外国籍住民等の方々の支援交流活動を、設立以来23年間一日も休むことなく続けてまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大・蔓延に伴い交流活動を2年余という長期にわたり休止いたしました。

このような状況下では、やむを得ない判断でしたがまことに残念であるという一言に尽き、何気なく過ごしていました日常が懐かしいと感じています。

今年、2022年は徐々にボランティア活動を再開する運びとなり、新しい生活様式を踏まえ、感染症対策を万全に行い安心して安全な支援交流活動ができる環境を整備してまいります。

当センターの支援・交流活動を再開するに当たり、ボランティア会員の皆様のお力が必要となり、一層のご協力、ご支援の程どうぞお願い致します。

結びに、本年も皆様のご健勝でご多幸がありますよう心からお祈り申し上げます。

2022年新春

ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで



第23回「国際ボランティア祭夢広場」を開催

秋晴れの11月3日、ぽっぽ町田イベント広場にて「さあみんなでコロナを乗り越えよう」をサブテーマに無事に開催する事が出来ました。

昨年は中止でしたが、感染対策を話し合い事務局にご協力をいただきながら、密にならないように実行委員会で打ち合わせをしました。

例年町田周辺で海外と交流しているNPO、NGOのボランティア団体による特別企画、ステージパフォーマンスと賑やかでしたが、今年は8団体による物販ブースと活動報告、募金活動が主でした。

各団体も海外の方々とzoomによる交流のようですが、日本在住のポリネシア人によるハワイアンクラフト 'ohekapala (竹のスタンプ) のワークショップも人数の制限をしながら楽しんでいただきました。

ミャンマー、ネパール、シリアの方々にも参加していただき、稲野実行委員長の夢広場宣言に始まり、町田石坂市長をはじめ、(一財)町田市文化・国際交流財団高橋理事長、齋藤名誉実行委員長、(一社)青年会議所伊藤理事長、(社福)町田社会福祉協議会馬場常務理事のご来賓の方々のお心のこもったお言葉を、会場の皆さんと一緒に拝聴しました。

コロナ禍の中ご来場いただいた皆様には深く感謝しています。来年度はステージパフォーマンス、海外との交流も一歩前進することが出来るように夢が広がる文字どおり「夢広場」を目指したいと思います。

国際理解・協力部会 山口美知子



ミャンマーの方も参加して



各ブースを回る石坂市長と(一社)青年会議所伊藤理事長



ohekapalaワークショップ

外国人とそのご家族 FC町田ゼルビア ホームゲーム観戦にご招待!!



10月10日(日) 外国籍の方とそのご家族、7か国22名が株式会社ゼルビア(FC町田ゼルビア) ホームゲーム観戦に招待され、参加しました。

「町田を世界へ」のビジョンを掲げるFC町田ゼルビアにとって、海外の方と繋がることは非常に重要な施策と考えられているため、今回国際交流センターと協同で催行しました。

当日、快晴に恵まれ、鶴川駅からスタジアム行きの臨時バスに乗り、約20分で町田GIONスタジアム(町田市立陸上競技場[野津田公園])に到着しました。スタジアムでは、「第2回コスプレフェスin天空の城 野津田」も同時開催され、コスプレの参加者などで会場がとても賑わっていました。参加者は観戦のみの「シンプルコース」とホームゲーム会場ツアー、ゼルビアの紹介ガイドが付いた「しっかり観戦プラン」の2コースから選び、参加しました。また、観戦チケットの他にシャツもプレゼントされました。シャツを着てのホームゲーム観戦で一層気合の入った応援になりました。コロナ禍の日常生活に多くのストレスを抱えている中で、眺めが良く、空気の澄んでいるスタジアムで皆様は楽しいひと時を過ごすことができたのではないのでしょうか。私自身は最後の記念写真に微笑んでいる参加者の皆様を見てほっとしました。短い時間でしたが、各国の方と交流ができてとても有意義な交流機会でした。最後にこのチャンスを提供していただいたFC町田ゼルビアのスタッフの皆様へ感謝を申し上げます。今後とも地元サッカーチームを応援していきたいと思っております。

事務局 富田 莉莉

編集後記

今年も新しい年を迎え、笑顔で過ごせる年か、ある種の違和感を持った緊張感のもとに過ごすことになるか、予測のつかない状態が続いています。昨年の暮れの世相は半分笑顔が戻ったような、COVID19の新規感染者が諸外国に比べ低かった結果、解放されたと感じた人々がどっと街へと繰り出しました。

2022年は、さて如何なる年となるか。第6次の流行の山がまた再現されてしまうのか、変異ウイルス「オミクロン株」に対して、私たちが気を付けるという気構えを持つことが、笑顔で過ごせる年となるかどうかにかかっています。私ども「ぼろんていえ」編集スタッフも、健康に気をつかいながら頑張っていきたいと思っております。

生涯学習センター

「講座づくり★まちチャレ」

ちがいをもっと知りたいな～多文化共生ってなあに？～

近隣の外国人と仲良く過ごしたいと思いませんか？ 外国や日本文化の紹介などを通してお互いの違いを理解し、ともに生きるためのヒントを学びます。

対象 どなたでも

日時 全4回。第1回2月6日、第2回：2月13日、第3回：2月20日、第4回：2月27日
各日曜日、13：30～15：30

会場 町田市立中央図書館 6Fホール（町田市原町田3-2-9）

内容 第1回：基調講義（多文化共生について）
毛受敏浩・日本国際交流センター執行理事
第2回：外国人によるパネルディスカッションと馬頭琴の演奏
孟慧（中国）、柳哲洙（韓国）、アヨンガ（中国、馬頭琴）
第3回：外国人との接し方
坂内泰子・自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー
第4回：やさしい日本語
同上

定員 20名（申込順） **費用** 無料

申込 1月5日（水）9：00から20日（木）17：00まで電話で、町田市生涯学習センター（042-728-0071）へ。

ご注意 新型コロナウイルス感染症の状況から、中止または定員の変更等を行う場合があります。最新の情報については、生涯学習センターホームページをご覧ください。

申込・問合せ

町田市生涯学習センター（町田市原町田6-8-1 町田センタービル6・7・8階）

TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073

休館日 毎月第4月曜日（祝日の場合は翌日）および年末年始（12月29日～1月3日）

コロナ禍を乗り越え今こそ、ジェンダー平等の町田を

第22回 まちだ男女平等フェスティバル

2022年2月5日（土）9:45～16:00

2022年2月6日（日）10:00～16:00

会場：町田市民フォーラム3・4階

申込受付 1月7日 正午～
「イベシス」または「イベントダイヤル」で

オープニング・メイン企画

2/5（土）
9:45～

ピアノコンサート・セレモニー・基調講演

絵本で見るジェンダー

時代と立ち位置で、どう違う？

講師：草谷 桂子さん（児童文学作家）

実行委員会企画

2/5（土）
13:30～

講演会

命の尊厳と人権

～共生の社会を目指して

講師：駒井 知会さん（弁護士）

2/6（日）
10:00～

講演会

歴史と歌の歌詞から

ジェンダー問題を考える

講師：大熊 啓さん（シンガーソングライター）

2/6（日）
13:30～

映画上映会

「ジェンダー・マリアージュ」

婚姻の平等を考えるドキュメンタリー映画



◀ 申込不要な企画もあります。詳細は、ホームページで！

※3階ホールで開催される企画を紹介しています。